

# モンゴルから静岡へ 静岡からモンゴルへ

参加料  
**無料**  
要・事前申込

～持続可能な交流と次世代育成～

モンゴルと聞いて連想するものといえば、“遊牧の国”、“ゲル”…。多くの方が共感してくださると思います。ここ数百年で地球の環境が悪化している問題に直面をする中、遊牧民たちの文化、社会構造が環境と調和していることに気がつき、さらに理解を深めようという取組・研究がなされています。これら取組や研究の一端にふれることで、モンゴルへの理解、そして自分達の暮らしをみつめるきっかけにしてみませんか？

さらに、「静岡県」に目を転じてみましょう。静岡県がモンゴルとの交流を開始し、約10年が経過しています。国内において、本県は、自治体間の交流にとどまらない、「モンゴルとの交流を進めるフロントランナー」としての役割を果たしています。

産・官・学の分野で、築き上げた信頼を今後どう活かしていくか、相互にとって恩恵を享受できる関係性を構築・持続するヒントを探りたいと思います。

開催日時 **令和7年**

# 3月6日木

13:30～16:50(13:00開場)

会場の御案内 (定員:100名)

●会 場：もくせい会館 富士ホール

静岡市葵区鷹匠3-6-1



●申込方法

裏面の申込書に必要事項を記載し、FAX又は郵送にてお送りください。ホームページ又は右記二次元コードからお申込みいただけます。



●申込期限

令和7年3月4日火 17:00

## プログラム (敬称略)

■開会挨拶・趣旨説明

### 講演の部

■モンゴル人が考えるSDGs

静岡県立大学グローバル地域センター客員教授・  
モンゴル国大学院国際研究所教授  
パンティーン・ガンホヤグ

■グローバルヘルスリーダーシップを育てる：  
モンゴル国の高等教育機関・医療機関との交流を通じて

静岡県立大学看護学部 国際看護学・看護管理学教授  
竹熊カツマタ麻子

■モンゴルにおける日本語学習事情

元モンゴル国立大学日本語講師  
元JICA青年海外協力隊訓練所モンゴル語講師  
ダンバダルジャー・ナランツェツェグ

### パネルディスカッションの部 (50音順)

- 静岡県立大学看護学部 看護学科・株式会社なまけもの 代表取締役社長 **高林佑介**
- 伊豆の国市 企画財政部 協働まちづくり課 広報広聴室長 **夏目健次**
- 有限会社ヤナザイ ニヤムジャウ・ムンフバト
- 焼津市 生きがい・交流部国際交流課(外交専門官) **バーサンスレン・ヤンジルハム**

司会 静岡県知事直轄組織 地域外交局地域外交課 地域外交専門官 **杉村 エルデネハタン**

■主催・お問い合わせ

## 静岡県立大学グローバル地域センター

TEL:054-245-5600 FAX:054-245-5603

https://www.global-center.jp E-mail:glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

後援

静岡県、島田市国際交流協会、  
焼津モンゴル友好協会、  
伊豆の国市友好都市交流協会

# モンゴルから静岡へ 静岡からモンゴルへ

～持続可能な交流と次世代育成～

## プロフィール

### バンティーン・ ガンホヤグ

(Pantlin GANKHUYAG)



●静岡県立大学グローバル地域センター客員教授・  
モンゴル国大学院大学国際研究所教授

モンゴル国立大学物理数学学部・数学学科3年生の時、モンゴル-日本政府間の文化交流協定により、同国初の国費留学生として日本へ留学。東京外国語大学付属日本語学校で一年間日本語を学んだ後、信州大学繊維学部で織物技術を学び卒業。卒業後は、自国のカンミヤ製造工場で技術指導にあたる。駐日モンゴル大使館やモンゴル各省市での勤務を歴任し、あわせて世界各地の大学で経済学、英語、外交関係等を学ぶ。2008年トルゴビ県知事に就任(2期・8年)後、静岡県と友好協定を締結。幅広い分野で得た知識・技術を活かし、モンゴルの人材育成に心血を注ぐ。モンゴル国ドルノゴビ県出身。

### 竹熊 カツマタ 麻子

(たけくま かつまた あさこ)



●静岡県立大学看護学部 国際看護学・看護管理学 教授

2017年からモンゴル国のモンゴル国立医科大学看護学部と国際学術交流、モンゴル国の看護教育のキャパシティディベロップメントを目的として、教育活動を行っている。  
また、体育学教育環境整備の支援、青少年の健全育成、障害者の教育、社会参加への支援を目的としプロジェクトを起し、柔道畳をモンゴルに輸送、モンゴル国体育大学・モンゴル国視覚障害者協会・特別支援学校に柔道畳を寄贈。柔道を通じた幅広い交流も行っている。

### ダンバダルジャー・ ナランツェツェグ

(Dambadarjaa NARANTSETSEG)



●元モンゴル国立大学日本語講師  
元JICA青年海外協力隊訓練所モンゴル語講師

1952年モンゴル国ドルノゴビ県(東ゴビ)生まれ。モンゴル国立大学文学部卒業。東京外国語大学研究留学を経て、モンゴル国立大学で概ね15年間、日本語の指導を行う。1992年来日、JICA青年海外協力隊派遣前隊員に、概ね25年にわたりモンゴル語を指導する。令和2年秋、モンゴルでの日本語教育の発展及び日本・モンゴル間の相互理解の促進に寄与した功績において、旭日小綬章受章。主著に『日本モンゴル語基礎辞典』(大学書林、1998年)他、訳著に『裸の王さま』『パニック』(開高健著)、映画字幕翻訳に『白い馬』(権名誠監督作品)他

### 高林 佑介

(たかばやし ゆうすけ)



●静岡県立大学看護学部看護学科  
静岡県立大学発ベンチャー 株式会社なまけもの 代表取締役社長

静岡厚生病院で理学療法士として12年間勤務し、患者さんにより近い存在である看護師を目指すために静岡県立大学へ入学。入学後、同級生とボランティアチームなまけものを設立。大学生が能動的に活動し地域との繋がりをつくっていくことで、地域の福祉を盛り上げていくことを目標に2024年12月4日に株式会社なまけものを起業。

### 夏目 健次

(なつめ けんじ)



●伊豆の国市 企画財政部 協働まちづくり課 広報広聴室長

平成17年より伊豆の国市の広報担当としてカメラ・映像技術を学ぶ。令和4年4月より広報兼都市交流担当となり、令和5年に市民団や中学生を引率して初めてモンゴルを訪問。モンゴルの雄大な自然と心優しい人々に魅了され、カメラやドローンで様々なモンゴルの「今」を記録し、帰国後は、写真や映像にて、モンゴルの魅力を発信し続けている。自前のドールを着こなすMongolファン。

### ニヤムジャウ・ムンフバト

愛称:バト

(Nyamjav MUNKHBAT)



●有限会社 ヤナザイ勤務

1980年12月生まれ 43歳 モンゴル国中央県ノブスヘル村出身。林業家の両親の元、6人兄弟の次男として幼少期から森の仕事を見て育ち、大学で森林工学を専攻、3年在学中から自然環境省森林・水資源調査センターにて働き始める。2004年日本人女性と結婚、日本へ。2008年に永住権を取得。2児の父。20年にわたり、現会社に勤務。大井川流域の木材の植林から伐採までを行う仕事に携わる。

### パーサンレン・ヤンジクハム

愛称:ヤンジカ・ソラ



●焼津市生きがい・交流部国際交流課(外交専門官)

2011年モンゴル国立科学技術大学日本語科言語学修士課程修了。2016年より焼津市の職員として勤務。モンゴル国との交流事業のコーディネーターを務めるほか、派遣・受け入れ時の通訳や市民向けのイベント開催などを担当。2023年静岡県立大学国際関係研究科比較文化学修士課程取得、同年モンゴル国大統領府功労称賞メダルが授与される。2024年、焼津市との架け橋となってきた功績に基づき、ウランバートル市チンゲルティ区名誉区民賞が贈られる。

### 杉村 エルデネハタン

(すぎむら えるでねはたん)



●静岡県 地域外交課地域外交専門官

1999年モンゴル国軍大学陸軍指揮官学部卒  
2004年日本国防衛大学校国際関係学部卒  
2011年静岡県入庁  
趣味は少林拳法、読書  
座右の銘は 上善如水  
人生のバイブルは「人間失格」「100万回生きたねこ」  
モンゴル国から外国人に授与される最高の国家勲章北極星勲章を受章妻、子一人。モンゴル国アルハンガイ県出身

# モンゴルから静岡へ 静岡からモンゴルへ

～持続可能な交流と次世代育成～

参加  
申込書

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、3月4日(火)17:00までに、FAXまたは郵送にてグローバル地域センターまでお送りください。

ホームページからもお申込みいただけます。なお、定員となり次第、締め切ります。

FAX・郵送先

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター

FAX: 054-245-5603

TEL: 054-245-5600 ●https://www.global-center.jp

E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

フリガナ 氏 名			
会社・団体名			
御 住 所	〒	TEL :	FAX :
ご 勤 務 先 ・ ご 自 宅 ○ を お 付 け ぐ だ さい。			
今後、当センターからの講演会の案内を	希 望 す る ・ 希 望 し な い		

\*FAX・郵便にてお申込みの方は、順次、参加確認の通知をしますので、御確認ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、静岡県立大学が開催する講演会のご案内にのみ使用いたします。

\*風邪症状がある場合の御来場はお控えください。